



# Violin

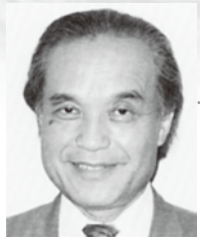
大津 純子 Junko Ohtsu

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業後、NYを拠点に演奏活動を開始。ジュリアード音楽院在学中に、ジュネス・ミュージカル・インターナショナルおよびカーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。セントルイス交響楽団、シモン・ポリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との協演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉のパブリックTVネットワークによる全米30都市以上への放映、また、米国でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。

国際交流基金派遣にてロシア、チェコ、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。「マラゲーニャ」、「アメリカ」(1998年、「レコード芸術」誌「室内楽準推薦盤」に選出)、『Prelude to a Kiss』などCD5枚をリリース。近年は、執筆・講演などの分野にも活動の範囲を広げている。

2002年、自ら企画・プロデュースする室内楽シリーズ『Good Old Days ~アメリカの“素敵なお時代”~』を立ち上げ、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった「知られざるアメリカ」にスポットを当てた意欲的な企画として、大きな注目を集める。

2004年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤彦彦と共に、ジャンルを超えて音楽を楽しもうという意図のもと、〈Junko and the Night and the Music〉シリーズを開始。3人の異なるバックグラウンドを活かしたユニークな企画は大好評を得ている。また、2005年より〈大津純子・心のコンサート〉シリーズを年2回展開中。



## ゲスト

音楽評論家  
スペイン・中南米文化研究家  
濱田 滋郎  
Jiro Hamada

1935年生まれ。60年頃より翻訳、雑誌への寄稿、レコード解説などの仕事につく。78年より2004年まで、東京芸術大学、桐朋学園大学、東京外国語大学、立教大学、東京大学ほかで非常勤講師を務める。NHKFM放送のクラシックおよび民族音楽の番組にレギュラー出演、89年には教育テレビ「市民大学」講師を半年間務める。88、90の両年、キューバの「ハバナ国際ギター・コンクール&フェスティバル」に審査員、講演者として招かれる。主要著書に「スペイン音楽のたのしみ」(音楽之友社)、「フラメンコの歴史」、「エル・folklore」(ともに晶文社)のほか、訳書多数。

現在、日本フラメンコ協会会長(90年より)、スペイン音楽こたまの会主宰(85年より)。「レコード芸術」誌新譜月評(器楽部門)レギュラー執筆者。第3回「蘆原英了賞」受賞。



# Guitar

山口 亮志  
Ryoji Yamaguti

1981年イスラエル生まれ。5歳からヴァイオリンを黒沼ユリ子、柴香苗各氏に学び、16歳でギターに転向。2004年米国フロリダ州マイアミ大学クラシックギター科卒業。在学中レネ・ゴンザレス氏に師事。また作曲をロバート・ガワ、フレッド・デセナ両氏、ジャズ・ギターをキンチ・オーケイン氏に師事。マスタークラスをオダイル・アサド、セルジオ・アサド、エドゥアルド・フェルナンデス、リカルド・ガレン、マヌエル・バルエコ、ジェイソン・ヴィオー、ホプキンソン・スミス各氏に学ぶ。

2004年第一回マイアミ国際ギターコンクール準優勝。同年、所属していたロック・グループ、カーニャとハードロック・カフェ・マイアミ主催のコンクールで優勝、マイアミ代表としてアメリカ全国選へ進出。2006年12月、ジャマイカで公演とレコーディングを行なう。2007年1月、自身が作曲を担当するジャズ、クラシック、ブラジルや日本音楽の要素を取り入れたクロスオーバーグループのアンサンブル・オトダマと、ジャマイカのモンテゴ・ベイで開催されたエア・ジャマイカ・ジャズ・アンド・ブルース・フェスティバルに招待される。2007年にフロリダ州のマイアミ大学付属フロスト音楽院ギター科より卒業。同年4月そして2008年にはヴァイオリニストの大津純子と米国フロリダ州で共演。

幼い頃より、ギリシャ、メキシコ、エル・サルバドル、アメリカ合衆国などの国々に生活し、そこで得た音の経験は、クラシック・ギター以外にもロック、民族音楽、作曲その他の幅広い分野での活動で生かされている。現在米国フロリダ州を拠点に演奏活動を行なう他、SoBe音楽院でギター講師を務める。



# Piano

鷺宮 美幸  
Miyuki Wasimiya

7歳よりピアノ、作曲、バイオリンを始める。その後、桐朋学園附属子供のための音楽教室、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H.ビュイグ＝ロジェ氏に見出され、パリに留学。帰国後、桐朋学園大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

音楽の構造を的確に把握した上での繊細かつ大胆な表現は高く評価され、現在各地の音楽祭での公式ピアニスト、オーケストラ公演のソリスト、室内楽奏者、桐朋学園大学嘱託演奏員などで活躍中。また多くの国内外の著名なソリストに請われ、ジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、レウ・アン・フランセのジルベール・オダン等と共演し、また世界屈指のチェリスト、ミッシェル・マイスキーと「徹子の部屋」(「ニュース23」)でも共演し、好評を博す。2007年11月にはNHKBS「びあのピアノ」にソロで出演。

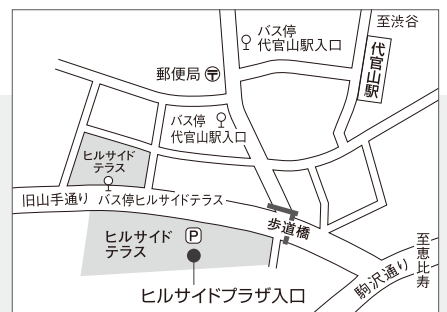
これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T.バラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマース、三善晃、H.ビュイグ＝ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

公式公式サイト  
<http://miyukipf.hp.infoseek.co.jp/>

《心のコンサート》その8  
2009年4月24日(金)  
ベル・エポック  
～パリの華やぎ～

# HILLSIDE PLAZA

- 渋谷より東急東横線で各駅停車にて一駅:「代官山駅」より徒歩3分
- 東急バス 渋谷71(渋谷駅発～洗足駅行)「代官山駅入口」より徒歩2分
- バス/東急トランセ(渋谷駅発)「ヒルサイドテラス」下車



駐車場の丸い建物が入口です。